

令和元年度第1回座間市地下水保全連絡協議会 会議録

- 1 日 時 令和元年5月20日(月) 午後2時00分～午後3時40分
- 2 場 所 座間市役所 5F-6会議室
- 3 出席者 委 員 岩田会長、小俣副会長、室星委員、小林委員、山田委員、塩谷委員
渡邊委員、野口委員
事務局 環境政策課長、環境保全係長、主査1名、主事1名
- 4 公開の可否 公開 一部公開 非公開
- 5 傍聴者 なし
- 6 議 題 (1) 平成29年度座間市地下水総合調査事業委託
令和元年度業務計画及び実施計画について
(2) 現地視察について
(3) その他
- 7 配布資料 ・次第
・平成29年度座間市地下水総合調査事業委託
令和元年度第1回地下水保全連絡協議会 資料
1. 全体業務計画書(案) - 5カ年計画 -
2. 業務計画書(案) - 令和元年度 -
3. 実施計画書(案) - 地下水総合調査 -
(1) 地下水位・河川水位連続調査、湧水量・河川流量調査
(4) 雨水浸透ますの簡易浸透能調査
4. 実施計画書(案) - GET F L O W S の更新 -
5. 地下水流動解析
- 8 議 事
(1) 平成29年度座間市地下水総合調査事業委託令和元年度業務計画及び実施計画について
て
① パシフィックコンサルタンツ(株) (以下「PCKK」という。)による説明
1. 全体業務計画書(案) - 5カ年計画 -、2. 業務計画書(案) - 令和元年度 -、
3. 実施計画書(案) - 地下水総合調査 -、4. 実施計画書(案) - GET F L O W S
の更新 -、5. 地下水流動解析

②質疑応答

【2. 業務計画書(案) - 令和元年度 - について】

・岩田会長

目久尻川は芹沢川に比べて流量が少ない。あの流量で調査ができるのか危惧している。

また、栗原中学校付近に米軍の井戸があるが、どのような影響を受けるのか。

・ P C K K

湧水量は地下水位の高さによって変動するもので、目久尻川のような少ない流量の河川は市内の水文環境を把握するための重要な観測地点となります。

揚水地点の情報は市内の水循環を把握するために非常に大切に、解析値と実測値に誤差が生じた際の判断材料となります。

【3. 実施計画書（案）－地下水総合調査－(1)地下水位・河川水位連続調査、湧水量・河川流量調査について】

・ 塩谷委員

地下水も河川も自記水圧式水位計を用いて、月1回の頻度で調査しているという説明があったが、どのようなタイミングでどのように調査を行っているのか。

・ P C K K

月末を目安にデータを回収しています。データ回収と合わせて手測りで河川流量や地下水位の測定などを行っています。また、観測機器の保守・点検も行っていきます。

今後は安全に配慮したうえで、降雨時の水位が高く流量が多い時の測定を検討しています。

【3. 実施計画書（案）－地下水総合調査－(4)雨水浸透ますの簡易浸透能調査について】

・ P C K K

雨水浸透ますについてですが、座間市においては、かなり多く設置されておりますが、清掃をしっかりとやっていかないと継続的に効果が発揮できないという話があります。そこで、今回、雨水浸透ますの清掃・浸透試験の動画案を作成してきたので、委員の皆様から意見をいただきたいと思っております。

・ 小林委員

雨水浸透ますの清掃協力はどのくらいの頻度でお願いするべきなのか。

・ P C K K

2～3年に一度の頻度で点検することが望ましいですが、一昨年度の調査であまり汚れていないことが分かったので、5年に一度程度の頻度でよいと考えています。

・ 渡邊委員

雨水浸透ますの浸透試験について、溜めた水が低下していく状況から、浸透性の善し悪しを判断する基準はあるか。

・ P C K K

浸透性はその土地の地質などの状況によるので、一般的な判断基準はありません。清掃前に浸透試験を実施し、この結果と清掃後の浸透試験結果を比較することで、改善の状況

を把握いただくことがよいが、なかなか2度の浸透試験をお願いしにくいところもあります。土や泥が溜まっているなどの点検項目を分かってもらえるだけでも効果があるかと考えています。

・小俣副会長

実際に雨水浸透ますの清掃をしている場面を動画にして、清掃が大変なことではないと知ってもらえるべきではないか。浸透試験の動画はそのあとではないか。

・PCKK

そのとおりだと思います。検討します。

・岩田会長

雨水浸透ますについては、今後どのように進めていくのか。

・PCKK

本日の協議会でいただいた意見を踏まえ、パンフレットや動画の更新を行います。

【4. 実施計画書（案）－GETFLOWSの更新－について】

・岩田会長

箱根山からの降灰が増えた場合、雨水の浸透能が低下し、地下水が減少するのでは。

・PCKK

降灰等により雨水浸透能が低下した場合についても、シナリオで設定することが可能となりますので、シナリオの設定内容について協議します。

・岩田会長

リニアの現状はどうか。

・PCKK

一部のところでは試験区間として進んでいますが、座間市に関係するところでは、立坑を掘削するための工事が少しずつ進んでいる状況です。具体的な工程等の情報が公表されたら、お知らせします。

・座間市

モデル化データは来年以降も更新していくのか。

・PCKK

現況再現は、平成29年～平成30年度の値で実施することを考えており、モデル化データの更新は今年度で一とおり終了すると考えています。来年度の更新は、今年度の検討により必要があれば実施します。なお、データについては取り続けます。地下水総合調査として必要な雨量などのデータについても、引き続き収集を行います。

・小林委員

昨年度実施した現況再現の地下水位等高線は、調査値に比べ10m程度低くなっている。また、等高線の形状も異なっている。その理由を把握できているか。

- ・ P C K K

現況再現の地下水位等高線が実測値より低くなっているのは、現況再現で利用した地下水位が特異値であった可能性があり、その値の影響で低くなっていると考えています。詳細については、現在確認中です。地下水位等高線の形状については、実測地点のない河川沿い部分であり、モデルによる形状のほうが正しいと考えています。実際の地形を再度確認して、形状の妥当性について確認していきます。

【その他】

- ・ 小林委員

会議資料について、今後、事前配布してもらえないか。

- ・ P C K K

次回より対応します。

(2) 現地視察について

事務局より、現地視察の日程について提案し、12月以降の実施で了承。

(3) その他

12月に任期満了となるが、引き続き全委員が再任する意向であることを確認した。